

滝沢中央スマートインターチェンジの 利用状況及び利用促進について

平成 31 年 4 月 20 日（土）に供用開始した東北自動車道 滝沢中央スマート I C について、令和 3 年の利用状況及び整備効果と今後の利用促進についてお知らせします。

「滝沢中央スマート I C の利用状況について」

- 令和 3 年の累計利用台数は約 86 万台で、1 日の平均利用台数は約 2,400 台
※参考 令和 4 年の累計利用台数は約 92 万台で、1 日の平均利用台数は約 2,500 台
- 令和 3 年 11 月には累計利用台数は 200 万台を達成
※参考 令和 4 年 12 月には累計利用台数は 300 万台を達成

「滝沢中央スマート I C の整備効果について」

- I C アクセス時間の改善による居住者・就業者の利便性の向上
滝沢中央スマート I C は通勤・通学時間帯である 7～9 時、17～19 時の利用が多く、人口集中地区（DID 地区）などから盛岡市・北上市などへの移動に利用されている状況から広域的な移動支援が図られている。
- 交通分散による渋滞緩和
開通前に比べ、国道 4 号、主要地方道盛岡環状線など周辺幹線道路の走行速度が向上している。
- 産業支援・強化に向けての地域経済活動の基盤整備
高速道路へのアクセス時間短縮、渋滞や狭あい道路の回避による事故リスクの軽減などが図られ、宮城県や北上市、矢巾町から多くの大型車が利用している状況から地域経済活動の支援に寄与している。
また、滝沢市中心拠点地区における商業施設整備が予定され、利用者の増加が期待される。（別紙）
- 搬送時間短縮による地域の救急医療支援
岩手医科大学附属病院等への救急搬送時間の短縮、患者への振動負担の軽減が図られ、迅速な救急活動に寄与している。

「今後の利用促進について」

- 市広報誌・ホームページを活用した情報発信
市広報誌（広報たきざわ）と市ホームページに利用状況や整備効果などについて掲載する。
- 各種 PR 活動の実施
イベントへの出展など、PR 活動を引き続き実施していく。
（特に利用台数の少ない休日の利用促進につながる PR について強化）
- ETC2.0 プローブデータを活用した利用促進
ETC2.0 プローブデータの解析結果を活用し、整備効果の検証等引き続き行う。

今後も P D C A サイクルにより継続的にフォローアップし、更なる利用促進を図る。

お問い合わせ先	担 当：滝沢市 都市整備部 都市政策課 電話番号：019-656-6543 E-mail：koutsu@city.takizawa.iwate.jp
---------	-------------------------------------------------------------------------------

滝沢中央スマート I C 開通後の状況

整備効果：産業支援・強化に向けての地域経済活動の基盤整備

滝沢市中心拠点商業地区概要

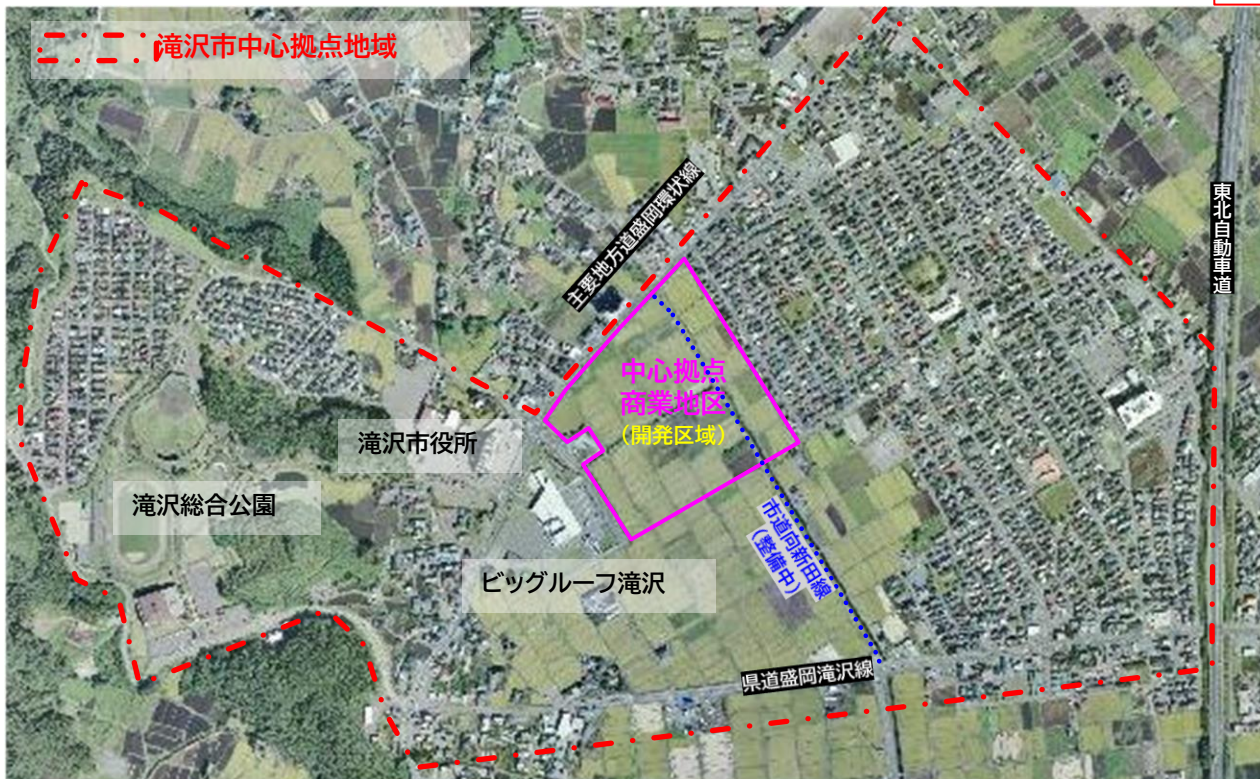
場 所 滝沢市鵜飼地内（ビッグループ滝沢東側）
 滝沢中央SICから約5分、盛岡ICから約10分

開発面積 約11.9ha

《中心拠点コンセプト“結のまち”滝沢》
 「食」「買」「健」「育」に基づく商業施設等（予定）



スーパーマーケット、物販店
 飲食店、健康増進施設、温浴施設
 保育施設、医療施設 など



運送、休日の利用増加に期待

開発スケジュール（予定）

令和4年	3月	市街化区域編入
令和5年	6月	造成工事開始
令和6年	3月	一部オープン
令和7年	3月	フルオープン

市道向新田線整備事業

令和4年	3月	工事着手
令和6年	3月	一部供用開始
令和7年	3月	全線供用開始

車道W=9.5m、歩道(両側)W=3.5m

商業施設へのアクセス◎